



DRC (障害学生支援部門) について

DRC: Disability Resource Center

京都大学における障害学生支援の拠点として、障害があるなどの理由により、修学上何らかの支援が必要な学生の相談に応じ、学修・研究上の必要に応じた修学支援(教育上の合理的配慮)を行っています。専任のコーディネーターを配置し、所属学部・研究科等や学内外の関連機関等と連携しながら支援を実施します。

修学支援は、学生本人及び所属学部・研究科等の申し出により検討し、その必要性が認められた場合、実際の支援に応じています。

本学の学生や教職員であれば、どなたでも利用可能です。

開室時間

9時00分～17時00分(月曜日～金曜日 * 祝日、年末年始、創立記念日及び夏季一斉休業日を除く)

連絡先

TEL: (075) 753-2317 FAX: (075) 753-2319

E-mail: drc@mail.assdr.kyoto-u.ac.jp

Website: www.assdr.kyoto-u.ac.jp/drc/



主な役割

- ・障害のある学生の修学上の相談・支援
- ・障害のある学生を支援する学生サポーターの養成・派遣
- ・支援に関連する部局や教職員との連携
- ・支援物品、関連図書の貸出
- ・支援ノウハウ、情報の蓄積
- ・支援に関する各種講座等の開講
- ・フリーアクセスマップの作成・配布
- ・シンポジウムや研修等の開催
- ・受験希望者の事前相談、オープンキャンパスでの支援等

● 支援の対象と範囲

対象: 障害により修学上何らかの支援が必要な者
(必要性が認められる場合は、慢性的な疾病や一時的な怪我等の相談にも応じます)

範囲: 講義、実験、実習、行事等、必要があると認められる範囲

● 支援の内容、方法

個々の状況やニーズと授業内容等の環境的要因をふまえ、専門的な判断により検討します。以下は支援の一例です。

視覚障害: 資料等の点訳・音訳、対面朗読、ガイドヘルプ、書籍等のテキストデータ化等

聴覚障害: ノートテイク、パソコンテイク、映像教材の字幕付け等

肢体不自由: 施設・設備の整備、教室変更、介助者の配置等

発達障害・精神障害: 授業の参加方法の調整、修学環境の調整等



Kyoto University

Disability Resource Center

学生総合支援機構 障害学生支援部門

● 吉田キャンパス本部構内地図

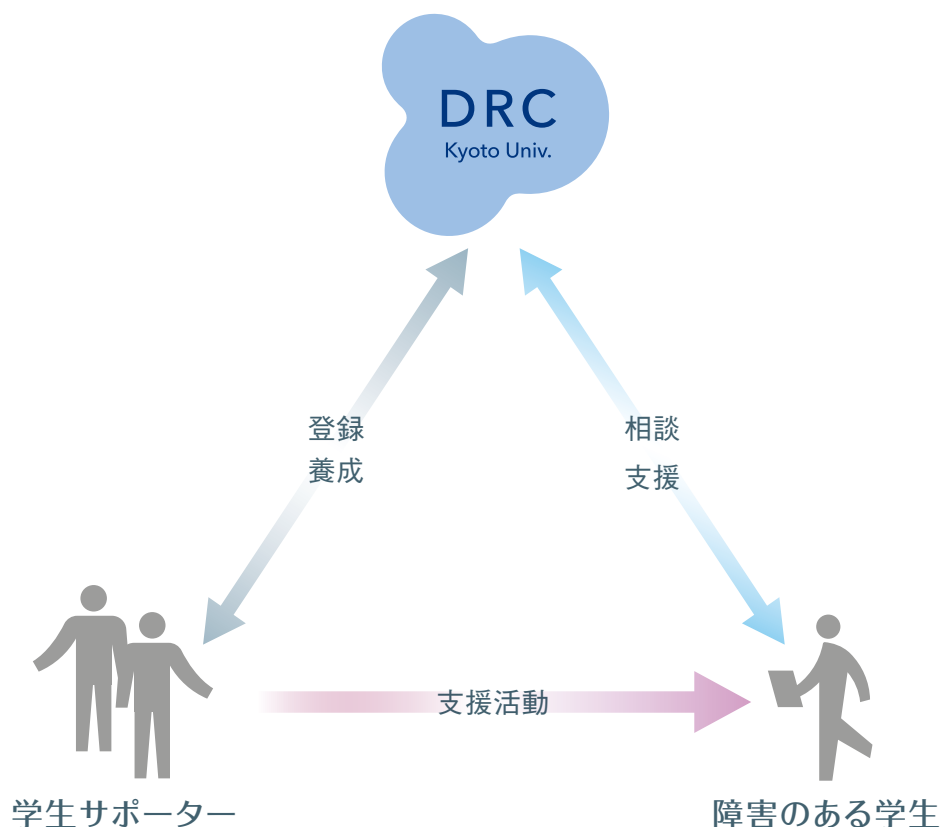
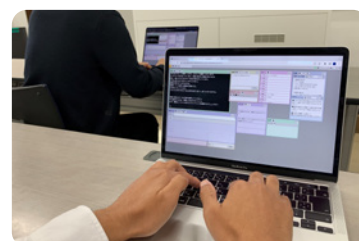


京都市左京区吉田本町 京都大学
吉田キャンパス本部構内
教育推進・学生支援部棟 1階
(旧石油化学教室本館)

学生サポーター

DRCでは、障害のある学生の修学支援を担う学生サポーターを養成・派遣しています。支援は障害の種類や程度、環境によって変化し、その内容も多岐にわたります。例えば、視覚障害のある学生に対するガイドヘルプ(移動介助)や対面朗読等の音訳支援、聴覚障害のある学生に対する情報保障(ノートテイク、パソコンテイクなど)、肢体不自由のある学生に対する移動介助等があります。

※原則として、支援は有償で行っており、DRCより謝金を支払います。



その他

●交流



DRCには、交流スペースを設けています。交流スペースは、開室時間内で開放し、障害のある学生と学生サポーター、さらには教職員も含めた交流の場になればと考えていますので、気軽に立ち寄ってみてください。また、障害に関する書籍や、支援に関するDVD等、様々な情報を閲覧・貸し出しすることができます。

●活動

- ・全学共通科目(ILASセミナー)「障害とは何か」の開講
- ・全学共通科目「学生生活からみた大学生生活論」「偏見・差別・人権」の一部を担当
- ・フォーラム、セミナー等の開催
- ・関連書籍の刊行 等